



4-12 T.Nishikawa銘のオルガン 吾妻教会蔵



4-13 T Nishikawa Co, Yokohama Nipponの銘



4-14 第4回内国勧業博覧会有功賞などの銘



4-15 3112 15206の番号
オルガンにはふたつの番号が刻まれています。3112は明治31年12月 15206は製造番号ともいわれていますが、明らかではありません。



4-16 1917 (大正6) 年に建てられた吾妻教会旧会堂

字で示したものです。ところが日本は英語ではJapanですから、Nipponは外国の人々にとってほとんどなじみがありません。すると、この銘は外国向けに記されたものではなく、国内向けに記されたものと考えられます。

吾妻教会のオルガン

吾妻教会は、群馬県吾妻郡吾妻町原町にあるプロテスタント教会で、1889 (明治22) 年に設立されました。教会には、設立の時の帳簿が残されていますが、それには「風琴買入支払残金」という項目があり、設立当初にオルガンが購入されていたことがわかります。けれども、T.Nishikawa銘のオルガンは1895 (明治28) 年以降に製造されたもので

すから、当初あったオルガンが何らかの理由で使われなくなり、その代わりに吾妻教会にやってきたと考えることができます。オルガンが来てから数年過ぎた1904 (明治37) 年、教会が中之条町に移転することになります。その際の引継目録に「風琴 壺」とあります。1917 (大正6) 年に教会は再び原町に戻ってくるようになりました。新しく建設された会堂内部の写真にはこのオルガンが写されており、以降50年程使用されました。

その後保存されていたオルガンは、吾妻教会110周年記念事業として和久井輝夫氏によって修理が行われ、1999 (平成11) 年から再び当時の音色を響かせています。